

特集 水と緑の森づくり

緑豊かな森を守り育てよう
皆さんと一緒に支える森づくり

富山県は本州一の植生自然度を誇り、県土の約3分の2が森林で占められています。この豊かな森を県民全体で守り育てるため、平成19年度から「水と緑の森づくり税」を導入しました。県では、この税を活用し、県民参加の森づくりを進めています。

平成19年度の取組み

ポイント1 県土を支える
多様な森づくり

県下14市町の44地区において、地域やそこで暮らす人々の生活に密着した里山の再生整備を県民の皆さんと協働で実施する「里山再生整備事業」(整備面積366ha)に取り組みました。モデル地区の黒部市若栗での開始式には、石井知事、堀内黒部市長らも参加し、地域住民やボランティアなど150名が里山林の整備に汗を流しました。

また、県下12市町において、風雪被害林や手入れ不足で過密となった人工林を、スギと広葉樹の混在する公益的機能の高い森林に誘導する「みどりの森再生事業」に取り組み、61haを整備しました。



里山再生モデル地区で地域住民の皆さんらが参加し、下草刈りなどを実施(黒部市若栗) <平成19年8月>

ポイント2 みんなで参加する
森づくり

とやまの森づくりサポートセンターによる研修の実施や交流会の開催など、森林ボランティアを総合的に支援しました。

「県民による森づくり提案事業」では、皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集。風倒木を利用したテーブルや椅子の製作設置など、15団体の事業を支援しました。

また、県が水と緑の森づくり税を活用して実施する事業についても募集し、14件のアイデアが寄せられました。それらの一部は平成20年度の事業に反映しています。



石井知事も応援に駆けつけたボランティアの集い(南砺市桜ヶ池) <平成19年9月>

ポイント3 森づくりへの
意識づくり

小中学校の児童・生徒や県民の皆さんを対象にした「森の寺子屋」(出前講座や森林教室)を開催しました。平成19年度は約3000人が参加。森林に関する講義、樹木観察やシイタケ植菌などの体験学習を通して、森づくりへの理解を深めました。県では「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーの養成にも取り組み、新たに62名を認定しました。

また、県産材の良さを実感してもらい、その利用促進を図るため、公共交通機関や公共施設に県産材ベンチを設置(160基)しまし



風倒木でテーブルや椅子を製作し、公園に設置(綾子山再生利用の会) <平成19年7月>



上下流連携植樹の集い(高岡市福岡町上野) <平成19年11月>

た。このほか、県下全ての幼稚園、保育所、福祉施設等に県産材の積木の配布などを行いました。



駅の待合室などに県産材ベンチを設置 <平成19年10月>

平成20年度の取組み

平成20年度は、昨年度からの取組みを着実に進めるとともに、新たに次のことを実施します。

- ・カシノナガキクイムシによる枯損木の除去
- ・拡大する放置竹林の実態把握と整備方針のとりまとめ
- ・県産広葉樹の苗木を県民参加で育てる「みどりの里親事業」
- ・「森の寺子屋」で活用する副読本の作成 など

○平成19年度「水と緑の森づくり税」を活用した事業の実績

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善	
I 水と緑の森づくり推進事業	1百万円
水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進	
II 里山再生整備事業	8千5百万円
III みどりの森再生事業	7千5百万円
とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進	
IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	2千8百万円
V とやまの森づくり総合情報システム事業	2千5百万円
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	3百万円
VII 県産材利用促進事業	3千4百万円
VIII 県民による森づくり提案事業	9百万円
計	2億6千万円

●インタビュー

よみがえった里山に広がる交流の輪。

富山市文珠寺集落 総代 奥 邦夫さん

当地区では、平成19年度から「里山再生整備事業」に取り組んでいます。昭和40年代頃までは里山の資源が生活と密着していましたが、その後は次第に誰も行かなくなり、雑木やモウソウチクも生え放題でした。



しかし、里山の整備により、荒れた山も目を見張るほどに生まれ変わりました。昨秋は、子どもたちと一緒に広葉樹林を整備し、伐った木でシイタケの「ほだ木」を作りました。この春にはタケノコ掘りも行いました。

里山での活動は、子どもたちにとっても良い体験となり、ふるさとや山への愛着も生まれると思います。これからも、三世代交流を楽しみながら活動を続けていきたいですね。

とやまの森づくりホームページ

森づくりの取組みや本県の森の現状、森づくり活動に関する情報を広くお知らせしていきます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/>

